

< 建設省は何を考えているか >

新しい経営状況分析評点（Y）に対する不満は多いようです。

不満例

- ・設備投資がマイナス評価される。
- ・技術力がなくても経営だけいい会社は点数がいい。
- ・完成工事未収入金の多い3月期決算は不利になっている。

建設省は、「技術と経営に優れた企業が伸びられる透明で競争性の高い市場環境の整備」を進めているのに、本当にそうなのかというのが建設会社の経営者の実感ではないでしょうか。規模の小さな会社がY評点の上位にランクされるのを見るとその思いは募るばかりです。

しかし、経営がよい Y評点がよいではありません。「経審」は企業評価の一指標にすぎないという認識をもって冷静に対応すべきです。

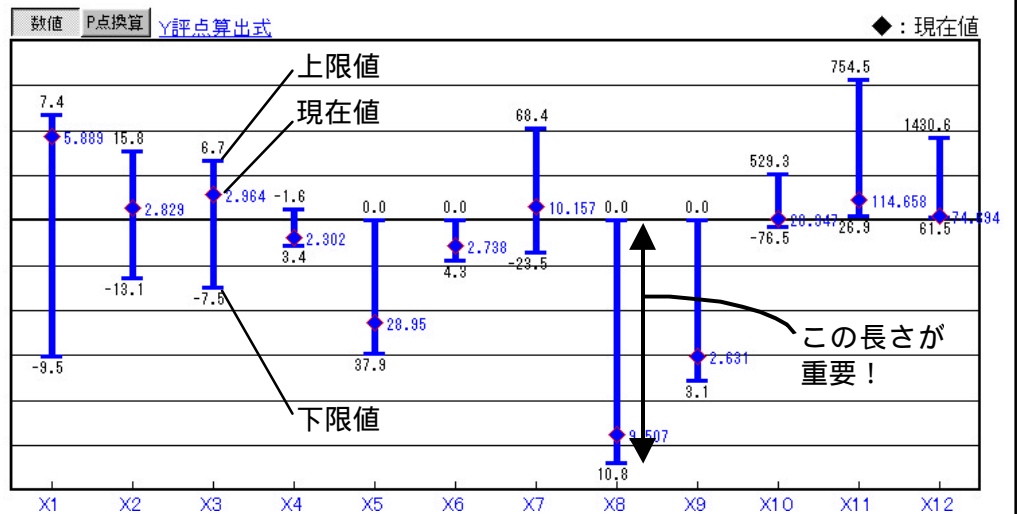
建設省は、相次ぐ大手建設会社の倒産を目の当たりにして、「つぶれない会社を選別」する姿勢をはっきりと打ち出したと見るべきでしょう。その証拠は「経審」の指標にあります。右図は、Wisdom2000 経審点数計算システムのY評点のグラフです。各指標の棒の長さはY点への影響度の大きさを示しています。棒の長い指標ほど上限と下限の差がつきやすいのです。この中では、有利子負債月商倍率(X8)、純支払利息比率(X9)の長さが目立ちます。有利子負債月商倍率(X8)の全体に占める割合は16.2%、純支払利息比率(X9)は10.7%で、合計すると26.9%です。建設省が試算した平均的企業では、有利子負債月商倍率(X8)が17.0%、純支払利息比率(X9)が

11.3%で、合計すると28.3%です。個別企業においてはそれぞれ違いますが、実に、四分の一強を有利子負債があるかないかで決めています。ここに建設省の意図が読みとれるのではないのでしょうか。細かな分析は次回以降に譲るとして、建設省はいかに倒産を恐れているかが分かります。危ない会社がAランクになっていては困るのです。

一方、経営者からすれば、「経審」は経営の足かせになっていると考えている人が多いでしょう。自己資本の少ない日本企業においては、他人資本に頼って投資していくしかないからです。しかし、建設省の意向も無視できません。自社の経営と「経審」対策とを両立する方策を考えて行動しましょう。

WISENET編集部 松村 清（税理士）

Wisdom 経営状況ウェイト換算グラフ



*縦軸が長い指標ほど、Y点への影響が大きくなります。X8、X9などの有利子負債に関する項目のウェイトが高くなっています。

「Wisdom2000 経審点数計算システム」検索・判定機能搭載！

データの検索機能

全国 167,925 社（新経審公表済全社）の経審データから会社別、条件（完工高、指定地域、評点等）別にデータの検索が可能。知りたい会社の経審結果通知書を即座に表示することが出来ます。

完工高と技術者の相関分析

技術職員数値1点当りの完工高を業種別に計算、全国の平均値との比較を行います。全国平均に対して数値が大きい業種は要注意！

「Wisdom2000 経審申請書類作成システム」新発売！「Wisdom2000 経審点数計算システム」のデータをそのまま経審書類として印刷します。用紙サイズの自動設定機能で、[プリンタの設定]が必要ありません。

デモンストレーション希望（無償）

資料請求（無償）

*すでにご注文をいただいたお客様にもこのFAXは届いております。

資料請求・ご注文は上欄に必要事項を記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

ご住所（商品送付先） 〒

TEL

FAX

e-mail

決算月

月

「WISE FAXNET」では「Wisdom」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求は弊社までご連絡下さい（バックナンバーの請求は「Wisdom99/2000」をお持ちのユーザー様に限らせていただきます）。